

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	岩澤直子 (いわさわなおこ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科博士後期課程 2 年
発表年月 または事業開催年月	2022 年 10 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本認知・行動療法学会第 48 回大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	岩澤直子、大月友
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	小学校教師用行動的支援尺度の作成および信頼性と妥当性の検討
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。) 【概要】 本研究は、小学校教師用行動的支援尺度を作成し、信頼性と妥当性を検討することを目的とした。予備調査の結果をもとに作成した質問紙を、小学校通常学級の担任経験のある教師 300 名に対して実施し、分析した。天井効果と床効果の確認および探索的因子分析を行い、因子構造を検討した結果、13 項目 1 因子構造となった。信頼性を検討するためにクロンバックの α 係数を算出した結果、十分な内的整合性が確認された。また、構成概念妥当性を検討するために、複数の尺度との相関係数を算出した結果、収束的妥当性および弁別的妥当性が概ね備わっていることが確認された。最後に、尺度作成における課題と今後の活用の可能性について考察した。 【成果】 本研究によって作成した尺度は、信頼性と妥当性に関するさらなる検討が必要なことや、教師と専門家で尺度得点に差が生じる可能性があること等の課題がある。しかしながら、教師の支援行動を測定する尺度が開発されたことの意義は少なくないと考えられる。	

※無断転載禁止